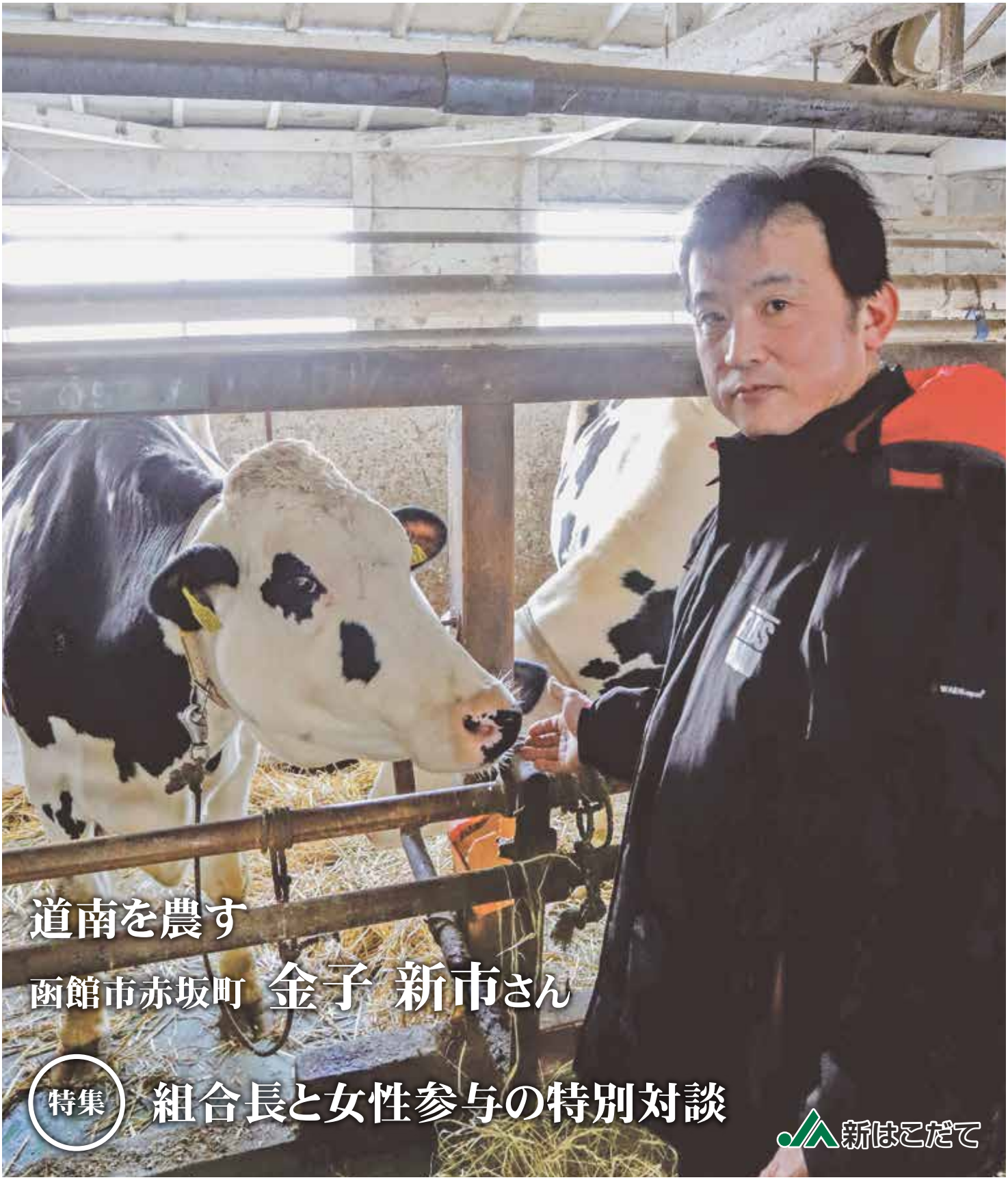
ＪＡ新はこだてとみなさんを結ぶコミュニケーション誌

えすぽわーる 新函館

2
February
2019
No.198



道南を農す

函館市赤坂町　金子 新市さん

特集　組合長と女性参与の特別対談

新はこだて

えすぽわーる
NO.198／2019年2月号

目　次
CONTENTS

2　道南を農す
函館　金子　新市さん

4　特集
組合長と女性参与の特別対談

7　頼れるアグリウーマン
せたな　坂上　歩未さん

8　となりの農家さん
八雲　舟田　圭佑さん
大野　宇野　芳樹さん

9　トピックス
アンパンマンこどもくらぶ
知内支店女性部が児童と料理　他

12　JAグループ通信

13　インフォメーション①
JA配置薬から新商品のお知らせ　他

14　インフォメーション②
理事会報告
道南農業新技術発表会

15　みんなのまるめ郎広場
平成30年度地区別農業法人設立研修会
健康企業宣言
北海道胆振東部地震の支援金

16　今月の朝ご飯
カブとシュンギク、リンゴのサラダ
若鶏のゆずごしょう焼きみぞれあん掛け

2019道南酪農セミナー

日時　平成31年2月21日(木)11時～
場所　八雲町活性化施設
ファームメイド遊楽部 研修室
(八雲町立岩359-13
TEL0137-63-4911)
講師　鈴木　雅人　氏
(農林水産省 牛乳乳製品課)
三好　志朗　氏
(獣医師)

新市さんが餌をやり出すと、カゴに首を伸ばす牛。

搾乳するためのミルカー6機をかけ、洗浄する様子。

優太さんの息子の飛源くん（9ヶ月）が牧場内に設置されたベビーベットに入っている様子。「作業中ずっとおんぶするのは大変だから」と優太さん。

道南をたがや農す

右から順に新市（しんいち）さんと妻の博子（ひろこ）さん、次男の優太（ゆうた）さんと息子の飛源（ひげん）くんを抱えている妻の可歩子（かほこ）さん、愛犬のカーフ

函館市赤坂町

金子（かねこ）　新市（しんいち）さん(52)

経産牛	80頭
育成牛	30頭
デントコーン	12ha
牧草	52ha

※平成31年1月時点

祖父の代から続く
函館酪農家の3代目

離農地を積極的に活用する

新市さんは江別市の酪農学園大学附属高等学校（現在のとわの森三愛高等学校）卒業後、1年間の実習期間を経て就農。6人兄弟の中で唯一の男だったことや、幼い頃から実家の酪農業を手伝っていたこともあり、両親の跡を継ぐのは自然な流れだったという。父の隆（たかし）さん、母の輝子（てるこ）さんも「私たちは息子が一人だったので、後継者になるように日々伝えてきた」と笑顔で話した。

5年前に離農した酪農家牛舎を譲り受け、昨年、息子の優太（ゆうた）さんが本格的に就農するのを機に、牛舎の一つは新市さん夫婦、もう一方の牛舎を優太さん夫婦がメインで担当している。

牧場を運営する上での課題を新市さんに聞くと「牛舎が2つになったこともあって、仕事量が多い。あと1人従業員がいればベスト。あとはやっぱり牛の体調管理が毎日大変」と話す。

理想は『見せる酪農』

「八雲なら放牧されている牛の姿を見ることができるけど、函館だと牛舎はあっても牛の姿は見ない」と新市さん。「放牧して牛をもっと見せる酪農をやっていきたい」と語る。

また、周囲の酪農家と共に、デントコーンや牧草の収穫作業を行っており「フレンドリーな関係で共同作業ができていることが面白いところだと思う」と笑顔を見せる。

今後の経営については「牛舎や土地に見合った収益を確保できるように、生乳や牧草などのクオリティを意識しつつ、各種会議やイベントに参加できるだけの時間とゆとりがある経営をこれからも続けていきたい」と話す。

昨年3月に息子の優太さんの長男『飛源（ひげん）』くんが誕生。優太さんは親子3人で朝5時から作業する毎日だ。日ごろ意識していることを聞くと「とにかく牛に草をたくさん食べさせて、胃を膨らませている。そうすることで体調が安定して病気になりにくい」とのこと。今後の目標については「自分の牧場の生乳からチーズを作っていきたい」と話した。

酪農ヘルパーの確保に向けて

南渡島酪農ヘルパー組合の組合長も務める新市さん。「道南は酪農ヘルパーがどこも不足しているので、道南の他ヘルパー組合と団結してヘルパーをもっと充実させるようにしたい」と話し、「部会などの視察研修や会議などに、もっと多くの人が参加できるようになってほしい」という。

最後に「2月21日に八雲町で開かれる酪農セミナー（詳細はP3左下「↙」に記載しております）には農水省の方が来て講演してくれる。国の話を直接聞く機会は貴重だと思うので、少しでも多くの人が参加し聞いてほしい」と呼びかけた。

特集

特別企画スペシャル対談

次代へつなぐ架け橋に

～組合長と女性参与の特別対談～

輪島 組合長　対談　岡崎 参与　笠松 参与

平成30年4月14日から本格的に女性参与制度がスタートしました。女性参与に選任された笠松悦子さん、岡崎昭子さんの2人に、理事会や研修等に参加した今の心境や今後の展望について、当JAの輪島桂代表理事組合長らと語っていただきました。

輪島組合長
女性参与の任期が4月から始まり、理事会への出席や各地域での立場など、環境が大きく変わったと思います。これから農協改革を進めていく上では、女性農業者の意見がますます重要となってきます。

▼女性参与に就任し、理事会や視察研修等を経た率直なご感想をお聞かせください。

笠松参与
私は以前から女性参画を掲げて活動してきて、女性農業者が「JA役員になる＝女性参画」と必ずしも言えないと思っていました。特にJA新はこだては女性の意見をすごく言わせていただける農協だと自負しておりましたので、余計にその思いが強かったです。ですが、理事会の雰囲気や議論の流れ、理事との視察研修を経験し、実際に参加しないとわからないことが多々あると実感しました。

60歳を過ぎて、大役を預かる身になろうとは想像もしておりませんでしたが、選任されたからには最後まで責任を持って、農協運営に参加していく所存です。

岡崎参与
当初、女性参与になることに対して、女性部側の意思では正直、積極的ではありませんでした。逆に言えば、責任から逃げていた部分も少なからずあったかと思います。笠松参与が言う通り、女性部と常勤役員との意見交換会など、女性の意見を直接言える場は結構ありましたので、理事会に女性が参加する必要性を強く感じてはおりませんでした。

この度は勉強させて頂きたいという気持ちを第一に参与を受けさせていただきました。先輩理事の話を聞いたり、視察研修に参加したことで、本当に自分の視野や世界観が広がったと思います。

輪島組合長
実際に理事会に出席してみての感想はいかがですか？

岡崎参与
11月の理事会は議論が白熱した場面もありましたが、それまでの理事会は想像していたよりも穏やかだったと思います。

笠松参与
理事会では各地区の代表がそれぞれの思いを発言していた場面もありましたが、一番大事なのは、農協全体のことを考えて発言することで、これ無しでは組織として前に進まないと実感しました。女性が発言するのはすごく勇気が必要だと思いますが、今の理事会はとても発言しやすい環境だと思います。また、女性参与が2人体制で良かったです。一人だと不安も今以上に大きかったと思います。

輪島組合長
各理事は地区の代表ですので、地区のことを考えることは当然だと思います。理事会では地区のことを考えながらも、JA新はこだて全体として物事を捉えて、発言していけるかが重要であり、その発言には責任が伴います。

代表理事組合長
輪島　桂

笠松参与
理事会では、経験や知識不足から発言のタイミングに迷います。それでも、参与に就任したからには、女性農業者や後継者が今まで以上に正組合員に加入するよう、活発な意見を交えていきたいと思っています。

岡崎参与
議決権がない中でも、参与として発言していくことが大切だと思っています。ただ、いざ挙手して発言するとなると、「これは今の自分の立場で言ってもいいことか…」と躊躇してしまうことがあります。わからないことなどは理事会会場への移動中などに先輩理事や基幹支店長にいろいろ教えていただいておりますが、もっと自分を磨き自信をもって発言できるようになりたいです。

輪島組合長
11月に開催された4地区合同女性役員・参与研修会に参加してみての感想は？

岡崎参与
JAようていでは地区から選出された女性理事がいるようで大変驚きました。最初の女性枠で選ばれた人が今の基盤を作り上げ、現在の地区から選出されるような流れになったとのことで、私たちもJA新はこだての初めての参与として、より一層、次の世代につなげていかなければいけないと強く感じました。

女性参与　笠松　悦子（知内）

笠松参与
私たち参与は、周りの人たちからの後押しがあって参与に就任した経過にありますので、しっかりと役目を果たそうという思いがあります。

▼就任する前後で気持ちの変化はありましたか？

笠松参与
次の世代に「つなげる」という気持ちが以前より大きくなりました。今後、役員等に就任していく女性が、意見を自由に言えるようになることが理想です。女性農業者が自ら、やりたいと思えるような環境に近づけるため、残りの任期を努めます。

岡崎参与
参与に就任する前は12年間、総代会や懇談会に出席していたので、JA新はこだてがどのような農協かを理解していたつもりだったものの、最優先は自分の地区だったと思います。そのため自分の地区から今まであるものが減ったり、無くなったりすることに拒否反応が強かったのも事実です。ですが、理事会に出席して農協全体を考える機会が増えると、自分の地区も含めどうしていくべきか、ある程度のスリム化も行っていかなければならないと考えるようになりました。販売物の売上が、各地区が何をどの程度まで許容できるのかを再検討する必要があると考えるようになりました。

輪島組合長
組織のスリム化については、現状のサービスを残しつつ、どれだけスリム化することができるかがカギだと考えています。支店の大小に関わらず根本的な考え方は一緒で、これからの少子化時代は各地区の組合員に現状のサービスを如何に提供していくかが課題で、我々役員・参与は常にその課題の解決に向けて考えなければいけません。

笠松参与
私はJA北海道女性協議会の副会長も務めたこともあり、常に組織の細部より全体を重視する思考を持っていました。ですが、Aコープ知内店を閉店したときには、閉店の理由を理解していても、町議会議員も務めていたことから葛藤はありました。

青年部や女性部が各地区で様々な活動を行っています。JA新はこだてと函館大麦高等学校が協力して、米作りイベントなどを行っていますが、とても良い活動だと思います。そういった活動をもっと青年部・女性部と連携して行い、そのための職員と組合員の間をつなぐのは、私たち女性の役目だと思っています。

総務部長
組合員や地域の人たちに「農協が必要」「農協がないと困る」と今以上に思っていただくためには、農協改革を受け身の姿勢で行うのではなく、JA新はこだて自らが自己改革をどれだけ実行できるかが重要だと考えます。

岡崎参与
様々な活動を青年部や女性部が実施していくためには、部員数も必要です。特に女性部は、青年部のように後継者が新たに入ってくるという事が少ないので、減少傾向にあります。

▼家族組合員と賦課金

輪島組合長
JA新はこだては道内でも家族組合員が圧倒的に少ない方です。

岡崎参与
家族組合員を増やすことについては、残念ながらJA新はこだての本気度が、組合員にあまり伝わっていないと感じます。また、賦課金の組合員割が以前より下がりましたが、私はさらに下げてもいいと思います。それと、「なぜ正組合員を増やそうとしているのか」の部分が弱く、私自身も他の人に組合員加入を勧めにくい現状もあります。

笠松参与
賦課金を下げて家族組合員を増やそうと試みていますが、「なぜ家族組合員を増やそうとしているのか」を組合員に理解してもらえないと、金額を下げても効果は薄いと思います。

女性参与　岡崎　昭子（瀬棚）

輪島組合長
組合員を増やす上で、問題はお金だけではないという2人のご意見はすごく共感できます。賦課金を下げた大きな理由としては、組合員を増やすための壁がいくつもあり、その一つにお金の問題があるならば、まずはそのお金の問題を解決しようとした結果です。

総務部長
以前、農協役員の選挙を行っていた時とは、組合員を増やしたい理由が違います。組合員戸数の減少から出資金が年々減少し、経営に関する各種数値が悪化傾向にあり、最悪の場合は信用事業を存続できなくなる見通しまでありま

す。これからは「自分たちの農協は自分たちで守っていく」という気持ちがとても大事になります。

笠松参与
以前のような役員選挙がなくなり、大勢の組合員が脱退したときに私も脱退したいと家族に話しました。すると息子に「脱退するのは違う。組合員でなくなったら、何かあったときに発言できなくなってしまう」と諭され、今も私の家族は全員正組合員です。
地域の農業者は、自分の経営を守るために農協が必要であることを再認識してもらいたいです。青年部や女性部の活動も今後さらに重要になってきますので、部員数の確保も必要だと考えています。

輪島組合長
私が代表理事専務の時の話ですが、各地域の女性部に対して、部員を増やすためにどのような取り組みを行っているかを聞いたことがありました。ある女性部では「私も女性部に入っているから、入らない?」といった「隣近所作戦」を実行していて、すごく良い取り組みだと思いました。女性部だからこれをやらなければいけないと固執するのではなく、自分たちが楽しい、やりたいと思えることをやっているから女性部に人が集まる、といった流れになれば、結果的に女性部員が増え、正組合員も増えていくのではないかと思います。

今後の農業について

笠松参与
少子高齢化の時代に農業を営むのは決して楽じゃなく、むしろ難しい職業だと思います。全員が経営を子供に引き継ぐのは厳しい面もあります。知内町では新規就農者を受け入れる取り組みも行っていて、こういった取り組みを通して一人でも多くの人が農業を一生の職業として選択してくれたら嬉しいです。

岡崎参与
せたな町では、新規就農について10年後を見据えて、地道に新規就農者の支援活動を行っています。もともと新規就農して来た人が他地区と比べ多い方ですが、新しい人が地域にやって来た際、その人たちと情報を共有したり、仲間作りをしていくという意味では女性部の役割はすごく大きいと自負しています。新規就農してきた方で、現在、地区でリーダーシップを発揮して活動している方も多いです。土地条件等で大規模農業が厳しい地区にとっては、規模は若干小さくても、やはり農家を減らさないことが大事だと思います。

参与から理事へ

女性参与制度が始まり、次期役員改選まで約2年となりましたが、今後理事会で役員定数の議論が始まります。女性理事への登用について、『今』の気持ちをお聞かせください。

岡崎参与
「参与は議決権がないので中途半端な気持ちだった」と、他JA の参与・理事の経験者にお話を聞いたこともありました。実際にこれまで理事会等に出席しましたが、似たような気持ちを抱いています。経営のことに対して意見し、共に運営の中枢に携わっていくのであれば、参与よりも、理事という立場の方が私は良いと考えています。

笠松参与
私たち女性に対しての気遣いや優しさから理事ではなく、まずは参与となったことには感謝しています。実際にこれまで理事会に出席した感想としては、意見は言えるが議決権がないことに葛藤もあったので岡崎参与と同じく、「どうせなら責任をもってやりたい」という思いが強いです。

輪島組合長
当初はさまざまな意見があり、女性が最初から理事を務めることは、就任する側の負担が大きいと考え、参与という立場を設けました。参与のお二人が「参与の次は理事への登用」といった考えをお持ちで大変嬉しく思います。

岡崎参与
理事の定数を増やすことは、現状可能ですか?

輪島組合長
女性の理事を増やすことについては、国も認めているため問題ありません。

岡崎参与
JA新はこだての経営を考えると、報酬などの負担も増えることになると思いますが、大丈夫でしょうか。

輪島組合長
負担以上の活躍を期待しておりますので、今後ともぜひ、運営参画をよろしくお願いします。

女性農業者や女性部員に向けて伝えたいこと

岡崎参与
私自身の経験も踏まえて、今後、役員や総代などに推薦された場合は、ぜひ受けていただきたいです。現在は法人化も進んできているので、ひと昔前のように必ずしも世襲で子供に経営を引き継ぐわけではないと思いますが、農業の楽しさやすばらしさを後継者と一緒に共有しながら次の世代につなげていってほしいと思います。
女性農業者は農作業をしながら、家族の健康に気を配り、子育てをして家庭を守り、経理面を一手に引き受けて、税金申告なども担い、本当に日々頑張っている人ばかりです。これからも夢と目標を持ちながら共に頑張っていきましょう。

笠松参与
農業を営む家庭は一般の会社勤めの家庭よりも、妻の理解が必要だと思います。女性部員以外の女性農業者の方には、ぜひ女性部に加入していただいて、自分の地域だけでなくJA新はこだて区域全域のことを少しでも知ってほしいです。また、JA新はこだてには女性農業者に対して、女性部に入ることのメリットなどを伝えるための手助けをお願いしたいです。様々な経験をすることで、自分自身にも自信がついていきます。
自由に意見を言える農協だからこそ、一人でも多くの方が総代会に出席して、意見を述べてほしいです。総代会は他地区のことも学ぶ機会になります。そういう流れになれば、JA新はこだても、女性が女性枠ではなく、地区から手を挙げられる時代がくるかもしれません。

参与としての思い、女性農業者への思いを熱く語る

頼れる♥ アグリウーマン♥

女性が経営を支えると言っても、その支え方は農作業の手伝いだけではなく、家事や育児など様々あります。そんな農家経営を支えている女性にインタビューしました。

もっと気軽に農業をしてほしい

せたな町
坂上（さかがみ）　歩未（あゆみ） さん

昨年11月に誕生したばかりの長女・ひなたちゃんと一緒に。

●どのように経営をサポートしていますか?

農薬、肥料、労賃等の様々なデータをパソコンで管理し、経営に役立てています。農閑期は主に事務作業を、農繁期は馬鈴薯の選別などを行っています。
子どもの頃から農作業の手伝いはしていましたが、数年前からは本格的に経営に携わっています。また従業員とのコミュニケーションを大切にしようと心がけています。

●ご家族や趣味について教えてください。

共通の友人をきっかけに知り合い、6年前に結婚しました。昨年は初めての子どもが生まれたので、今年は子育てをしながら、上手に農業に関わることが目標です。
趣味はドライブや、漫画を読むことです。たくさんの本があるので、2階の部屋の壁をほぼ本棚にしていますが、それでも足りなくなりそうです。

お気に入りの「キングダム」を手にする歩未さん。写っている本棚はほんの一部です。

●農業の魅力はどうすれば伝わると思いますか?

「農業に興味があるけど知り合いがいない」という声を聞くことがありますが、少しでも興味があれば、パートやアルバイトでもいいので、まず農作業を体験してみるといいと思います。自然の中で仕事をする気持ち良さ、頑張った分だけ成果として返ってくるという農業の魅力を知ってほしいので、もっと気軽に声をかけてもらいたいです。

〈取材 若松支店 堤　元貴〉

となりの農家さん

～農家の現場へズームイン～

八雲

牛の体調管理に気をつけます

舟田（ふなた） 圭佑（けいすけ）さん（27） 酪農（搾乳）

八雲町花浦地区の舟田圭佑さんは、両親と共に酪農を営んでおり、現在は総頭数165頭をつなぎ飼いし、そのうち65頭を搾乳している。

作業を行う上で「過搾乳しないように気をつけている」と話す。「今後、飼料分析などをしっかりと行い、餌についても色々と考えていきたい」と意気込んだ。

現在、北渡島地区青年部の監事を務めており、部員達と「八雲山車行列」や「農業祭」などの行事にも取り組んでいる。

「地元の仲間達と集まり、意見交換することで多くの行事を開催できている。意見が合わない時も度々あるが、それも青年部を運営する時には必要だと思う。今後も新規の行事を開催できるよう積極的に行動していきたい」と抱負を語った。

〈取材　八雲支店　田井　健吾〉

▲「1頭1頭愛情いっぱいに育てています」と笑顔の舟田さん

大野

切れ間の無い出荷を目指す

宇野（うの） 芳樹（よしき）さん（32） ウド

北斗市東前地区の宇野芳樹さんは、ハウス3棟でウドを栽培している。ウドの他には、水稲、カーネーション、アルストロメリア、トルコギキョウを作付けしている。ウドの収穫は年明けから始まり、2月末頃に終える予定。1日当たり約60ケース前後を出荷している。

今後について「各地域の農家と連携して、市場に切れ間なく出荷できるようにしたい。この機会にぜひウドの事をもっと知って欲しい」と語った。また、花卉については「お盆、彼岸の需要期に欠かさず出荷できるようにしたい」と話した。

〈取材　大野支店　長谷川　義人〉

▲芽の育ち方を確認中の宇野さん

えすぽわーる TOPICS トピックス

管内各地の旬な情報をお届けします。

家族でクリスマスツリーづくり アンパンマンこどもくらぶ

大野

ツリーに素材を貼り付けている親子

大野支店共済課は12月15日、アンパンマンこどもくらぶのクリスマスイベントを北斗市農業振興センターで開いた。

地域の子育て世帯を支援することを目的に共済課が行っている取り組み。

当日は親子ら27組77人が集まり、フェルト等を使ったクリスマスツリー作りを楽しんだ。来場者にはぬりえもプレゼント。

ツリー作りは、職員が事前にリボンやキャラクターなどのパーツとなる素材を作成。子どもたちは家族で協力しながら、思い思いに素材をツリーに貼り付けていた。その後ビンゴ大会も行われ、盛り上がりを見せた。

大野支店の松金修一基幹支店長は「クリスマスには家族で一緒に作ったツリーを飾って過ごしてほしい」と話した。

職員が用意した素材を選ぶ参加者

地場産食材を使って食育活動 知内支店女性部が児童と料理

知内

真剣な表情でニラを切る児童

知内支店女性部は11月の3日間、知内小学校の4～6年生の児童78人と料理を作った。今回で3回目の活動。部員らは包丁の使い方や野菜の切り方、調理方法などを指導。食べ物の栄養素などについて学んだ後、地元特産のニラ「北の華」を使い、ニラギョーザ、ニラチヂミ、ニラ玉スープ、ニラハンバーグなどを作った。

同女性部の城地純子部長は「児童が楽しそうに料理を作っていたので良かったです」と話した。

「手作り体験教室」を開催 北斗市女性部が餅づくりを教える

大野

参加者にごまもちの作り方を教える部員

北斗市女性部は11月25日、「農家の母ちゃんが教える手作り体験教室」を北斗市総合文化センター「かなで～る」で開いた。

伝統食の「くじらもち」と「ごまもち」のコースに分かれた地域住民ら30人に、部員が講師となって作り方のコツなどを教えた。部員らの作った新鮮野菜やトマトジュース、いんろう漬けなども販売し人気を集めた。

部員は「人に教えるのは慣れていなかったが、とても楽しかった」と話した。

拳銃を突き付ける強盗役の警察官

若松

いざというときに備える
金融窓口で防犯訓練を実施

瀬棚支店は昨年の暮れ、金融窓口で強盗犯に扮した警察官が登場する実践形式の防犯訓練を行った。

拳銃を持った強盗役が「金を出せ」「警察に連絡したら撃つ」と脅すと、職員は緊急時マニュアルに従い、強盗犯の車にカラーボールを投げつけ、防犯カメラをチェックするなどの対応を行った。

警察官からは「以前は時間稼ぎ対策があったが、今は命を大事に抵抗しないでほしい」と講評された。

左から順に輪島組合長、永井部会長、小田原局長

八雲

渡島総合振興局に鏡餅贈る
八雲町もち米生産部会

八雲町もち米生産部会は12月25日、今年の農作物の豊穣に感謝し、来年の農作を願って渡島総合振興局に「風の子もち」で作った鏡餅を寄贈した。

二段重ねの鏡餅は直径35センチ、重さ約8キロ。「風の子もち」は現在同部会の40戸で303ヘクタール作付けしている。

永井和広部会長は「天候不順に災いされながらも挽回し、道内でも上位の作柄を確保した。消費拡大へ一致団結して取り組みたい」と意気込みを語った。

塩ゆでしたあっさぶメークインを詰める親子

厚沢部

あっさぶメークインをPR
厚沢部支店と棒二森屋が共催

厚沢部基幹支店は12月8日、9日、函館市の棒二森屋で「Made inあっさぶ畑の食を味わう」を開いた。近年、じゃがいもの家庭内消費量が減少していることから、あっさぶメークインの消費拡大を目指し民間百貨店と共催。

塩ゆでしたあっさぶメークインの詰め放題やビックサイズのフライドメークイン、畑の炊き込みご飯などの加工フード等を販売した。会場は地元の親子連れや観光客で賑わった。

創作料理を採点する審査員

知内

手料理や手芸品を披露
第8回知内生活工夫展

知内支店女性部は12月11日、第8回知内生活工夫展を知内町で開いた。同町特産のニラを使ったニラ料理部門など、各部門合わせて75品の料理や手芸品が並んだ。最高賞の町長賞には、米「ふっくりんこ」や白ゴマ、かつおぶし、枝豆、鮭を使用した地場産部門の「焼きいなり」が選ばれた。

昨年11月に行った地元小学生への食育活動の紹介や視察研修で作った手芸品等のブースも設けた。

意見を交えた組合員懇談会

総務

各地区で意見・要望を聞く
組合員懇談会を開催

12月4日、5日、7日の3日間、北斗市や厚沢部、七飯、八雲町などJA管内の支店8カ所で、組合員懇談会を開いた。

JAから平成30年度10月末の農畜産物販売状況と年度末見込み、施設利用料や賦課金の見直し、農協総合事業の在り方などを説明した。

出席した組合員からは、賦課金や施設利用料など、さまざまな意見や要望が出た。意見・要望などは今後、理事会でも協議し、JAの事業運営に反映していく。

（集約した意見等については3月号に掲載予定です。）

参加者に料理を振舞う生徒ら

米穀

函館大妻高生のアイデア料理が並ぶ
「函館育ちふっくりんこ創作料理発表会」

函館大妻高校は12月11日、「函館育ちふっくりんこ創作料理発表会」を開いた。

生徒は7班に分かれ、「函館育ちふっくりんこ」を使った創作料理を考案。各班の代表者が料理のこだわりや工夫した点を説明した。参加者は試食しながら、見た目やおいしさなどを審査。いたけの出汁を混ぜたしゃりの上にマグロを乗せた1貫と、ゆず風味のさっぱりとしたサーモンが特徴の2貫1皿の「チビずし」が優勝を飾った。

焼肉のタレや醤油の製造過程の説明を聞く部員

大野

加工品の技術を学ぶ
北斗市女性部が青森県に視察

北斗市女性部は12月4日、青森県内で視察研修を行った。同女性部員14人と当JA職員が参加。同県内の調味料製造会社「上北農産加工株式会社」で加工品や瓶製品の製造過程、加熱殺菌などに関することを学んだ。八戸酒造株式会社では、酒の仕込みや若い世代へ技術を引き継ぐ方法などの説明を聞いた。その他、道の駅や大規模商業施設「八食センター」で同県産の加工品や野菜、果物などの食材を買い込んだ。

共同でビニールの被覆作業に取り組むニラ生産者ら

知内

ビニールハウスを共同被覆
知内町ニラ生産組合

ブランドニラ「北の華」を生産する知内町ニラ生産組合は11月24日、25日、12月1日の3日間、ビニールハウスの共同被覆を行った。初冬を迎える時期に毎年行っており、ニラの生産者や関係者らが延べ3日間でハウス695棟の被覆をこなした。

大嶋貢組合長は「低温遭遇時間が少なく、例年よりも作業を一週間遅らせたが天候にも恵まれ、3日間で計画していた棟数を終えることが出来て一安心」と話した。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

次世代の大規模農業経営者の育成を目的とした「北海道アグリフードプロジェクト・アカデミー（農業経営塾）」の第3回講座が、受講生10名の参加のもと、11月29日・30日の両日、札幌市内で開講されました。

今回は「人づくり・組織づくり」をテーマに組織開発、労務管理の基礎知識を専門家から学ぶとともに先進事例の紹介もあり、研修のまとめとして、受講生各自が「夢の農業経営」を実現するための「働き方改革実行宣言」を行いました。

JA北海道信連

11月に農業経営者支援の一環として、今年で8回目となる「農業経営フォーラム」を札幌で開催しました。当日は、（有）トップリバーの嶋﨑代表取締役に「トップリバー流の人材育成」を、志ネットワークの上甲代表に「いま経営者に求められるもの ～松下幸之助の人づくり～」をテーマに講演頂きました。参加者からは、「人材育成の重要性を理解できた」、「人としてあるべき姿を教わった」など好評を頂きました。

ホクレン

全道のホクレンSSで展開した「2018ラブ&ハートチャリティキャンペーン」に寄せられた募金と、売り上げの一部を合算した総額300万円を、北海道社会福祉協議会へ寄託しました。当キャンペーンは、ホクレンの社会貢献活動「HOKUREN SEEDS PROJECT」の一環として実施しており、道内の児童保育施設約810箇所に、絵本などの購入費用として使用いただく事となっております。

JA共済連北海道

12月24日（月）から1月20日（日）まで、さっぽろ地下歩行空間に、「アンパンマン × こども共済」の巨大壁面広告（全長14・5m）を掲出します（写真はイメージです）。一般のママ達が選ぶ「マザーズセレクション大賞」を受賞した「こども共済」を年末・年始にかけ全道から札幌へ訪れる方々へPRいたします。札幌にお越しの際は、ぜひ地下歩行空間でご覧下さい！

JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。

理事会開催報告

第12回理事会議案（定例）

●日時／平成30年12月21日（金）10時30分～　●場所／北斗市総合分庁舎

報告事項

（1）会計監査人予定者の決定（内定）について
（2）第3四半期定期監査結果について
（3）第3四半期内部監査結果について
（4）職員の退職について
（5）組合員の異動について
（6）第1回役員推薦会議の開催について
（7）平成30年度収支見込（JA新はこだて11月末現在）について
（8）平成30年度収支見込（㈱新はこだて協同11月末現在）について
（9）平成30年度木古内地区農業基盤整備資金及び担い手育成農地集積資金の借入について
（10）ハウスリース事業の取り進めについて
（11）平成30年度営農販売・経済委員会視察研修の実施概要について
（12）組合員懇談会の意見集約について

議　案

第1号　理事に対する組合員勘定供給限度額変更に係る包括事前承認について
第2号　役員報酬審議委員の選任について
第3号　平成30年度決算棚卸及び棚卸抽出検査の実施について
第4号　米穀共同計算販売基本規程の一部変更について
第5号　理事者への貸付について
第6号　第3四半期定期監査に対する回答について
第7号　理事に対する平成31営農年度組合員勘定供給限度額等及び物品取引契約の限度額について
第8号　平成31年度役員報酬額の諮問について

理事会開催報告

第13回理事会議案（定例）

●日時／平成31年1月25日（金）14時00分～　●場所／ホテル法華クラブ函館

報告事項

（1）総代会に提出する会計監査人選任議案について
（2）職員の退職について
（3）理事者への貸付実行の報告について
（4）組合員の異動について
（5）委員会の開催について
①第3回農家経営再建対策特別委員会　②第4回企画管理・信用共済委員会　③JA新はこだて安全安心青果物取扱基金諮問委員会　④第4回営農販売・経済委員会　⑤第6回ALM委員会
（6）12月分有価証券の売却について
（7）平成30年度収支見込（JA新はこだて12月末現在）について
（8）平成30年度収支見込（㈱新はこだて協同12月末現在）について
（9）平成30年度通常総代会までの主要スケジュールについて
（10）平成30年度購買品取扱奨励金の支払について
（11）規程等の一部変更について
（12）自給飼料生産性向上対策支援事業実績について
（13）生乳増産奨励対策事業実績について

議　案

第1号　平成31年度役員報酬額の決定について
第2号　職員就業規則の一部変更について
第3号　共済規程の一部変更について
第4号　財務管理規程の一部変更について
第5号　平成31年度余裕金運用（案）について
第6号　平成31年度余裕金預け先金融機関について
第7号　平成31年度余裕金運用計画額および運用方針（案）について
第8号　組合員の出資口数の減少の承認決議の取消について
第9号　平成30年度回収不能債権に係る貸倒償却及び利息減免について
第10号　平成31年度金融機関貸付方針（案）について
第11号　平成31年度地方公共団体に対する貸付に係る事前承認について
第12号　平成31年度理事者に対する共済・貯金担保貸付に係る包括事前承認について
第13号　平成31年度営農販売・購買事業における料金・料率の設定（案）について
第14号　平成31年度事業計画基本方針（案）について
第15号　平成31年度事業計画〈取扱・収支〉（案）について
第16号　平成31年度事業計画〈固定資産取得・処分〉（案）について
第17号　平成31年度経営定期点検実施計画の策定について
第18号　平成31年度内部監査計画（案）について

第21回 道南農業新技術発表会

道南農業試験場などが開発した最新の農業技術等を、いち早く皆様にお伝えします。

日　時　平成31年2月26日（火） 13:00～16:00（受付 12:30～）

場　所　厚沢部町役場 町民交流センター あゆみ
（〒043-1113　北海道檜山郡厚沢部町新町181-6 TEL:0139-67-2310）

内容
●今年開発した新技術等（病害虫防除、サツマイモの加工特性など）
●檜山農業改良普及センターの活動報告

参加無料

お問い合わせ先　地方独立行政法人 北海道立総合研究機構　農業研究本部　道南農業試験場　TEL0138-77-8116

みんなのまるめ郎広場

Q. 今月号のえすぽわーるの中から答えを探してください!

12月15日、アンパンマンこどもくらぶのクリスマスイベントが行われました。
親子で協力して作ったのは「○○○○○ツリー」でした。
「○○○○○」に入るカタカナ5文字は?

※ヒント:9ページの『トピックス』をご覧ください。

⬇応募用紙はこちら（切り取ってハガキにそのまま貼ってね。）
応募締め切り　2月19日（火）（当日消印有効）
※下記応募用紙には必ず全て記入して下さい。※コメントのないものは無効とさせて頂きます。

こたえ

ご希望のプレゼント　農協ラーメン・あっさぶの豆
※右記のいずれか1つに○を付けて下さい

〒　－
住所
氏名　年齢　才　TEL　－　－
ペンネーム
組合区分　正組合員・准組合員・その他　※○を付けて下さい
コメント ※広報誌へのご感想やご意見・ご要望、身近なできごとなどについて教えてください。

キリトリ線

プレゼント
クイズの正解者の中から抽選で3名様に、以下の2種類からお好きな商品を3袋お送りします。
希望のプレゼントをご記入ください。

農協ラーメン（1袋2食入り）

あっさぶの豆（1袋110g入り）

あて先
クイズ&投稿は、郵送またはFAX、メール、ホームページのメールフォームで受け付けております。

〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号
JA新はこだて企画室　FAX:0138-77-5566
E-mailアドレス　shouta.horiba@ja-shinhakodate.com

『健康企業宣言』

健康企業宣言とは、企業全体で健康づくりに取組むことを宣言し、一定の成果を上げた場合は「健康優良企業」として認定される制度です。JA新はこだてがその取組み事業所として登録され、「宣言の証」が贈られました。
役職員一同、健康で活気ある職場を目指し、日々、健康保持増進に努めます!

北海道チクレン・全酪連からの支援金

昨年、『平成30年北海道胆振東部地震』に対する支援として、北海道チクレン農業協同組合連合会、全国酪農業協同組合連合会から支援金を賜りましたことをご報告申し上げます。この支援金は組合員皆様の営農活動の支援に活用させて頂きます。

平成30年度地区別農業法人設立研修会

■研修項目〈案〉
（1）道内における農業経営の法人化（北海道農政部）
（2）農業経営相談所について（北海道農政部ｏｒコーディネーター）
（3）農地制度の基本・農業法人制度の概要（北海道農業会議：佐藤部長）
（4）農地所有適格法人の流れ（北海道農業会議：水尻調査役）
（5）関係機関からの情報提供等（関係機関）

開催日時・場所
日　時
平成31年3月1日（金）
13:00～16:00
場　所
北斗市農業振興センター
（北斗市東前）

参加を希望される方は、平成31年2月22日（金）までに最寄りの支店までお願いします。

■主催／北海道農業法人化等支援協議会（事務局：北海道農政部農業経営課）、北海道農業法人協会　■共催／ＪＡ新はこだて農業生産法人ネットワーク

えがほカーブ
第198号
平成31年2月8日発行
発　行／新函館農業協同組合
〒041-1201 北斗市本町1丁目1番21号
電話／0138-77-5555　FAX／0138-77-5566
ホームページ／http://www.ja-shinhakodate.jp/
編　集／企画室　印　刷／有限会社　三和印刷

おいしく食べて　今日もスタート

今月の朝ご飯

永井智一
（ながい ともかず）

茨城県笠間市にある「キッチン晴人（ハレンジ）」のオーナーシェフ・永井智一さんに、元気が湧いてくる朝ご飯を教えていただきます。

朝ご飯の献立

レシピ1
カブとシュンギク、リンゴのサラダ

レシピ2
若鶏のゆずごしょう焼きみぞれあん掛け

レシピ1
カブとシュンギク、リンゴのサラダ

材料（1人分）

- カブ…… 1個
- リンゴ…… 1／2個
- シュンギク…… 1本
- ベーコンブロック… 100g
- バルサミコ酢…… 小さじ2
- パルメザンチーズ…… 適宜
- クルミ…… 適宜
- ドレッシング
  - 米酢…… 大さじ2
  - サラダ油…… 大さじ4
  - オリーブ油…… 大さじ2
  - 塩…… 小さじ1／2
  - こしょう…… 少々
  - すりおろし
  - タマネギ…… 1／4個分
  - マヨネーズ…… 小さじ2

作り方

（1）ドレッシングの材料を合わせミキサーにかけておく。
（2）カブは半月切り、リンゴは一口大に、シュンギクは葉をちぎり（飾り用に半分ほど残す）ボウルに入れ、出来上がったドレッシング大さじ3であえる。
（3）（2）を器に盛り付け、炒めたベーコン、残しておいたシュンギクをのせ、バルサミコ酢とパルメザンチーズ、クルミを掛けて出来上がり。お好みでベビーリーフ（材料外）を散らす。

レシピ2
若鶏のゆずごしょう焼きみぞれあん掛け

材料（1人分）

- 鶏もも肉…… 80g
- 酒 …… 小さじ2
- 塩 …… 少々
- ゆずごしょう …… 小さじ1と1／2
- サラダ油…… 適宜
- あん掛け
  - かつおだし…… 大さじ3
  - みりん…… 小さじ1
  - 薄口しょうゆ… 小さじ1
- ナメコ…… 1／4パック
- 水溶き片栗粉…… 小さじ2
- カブ（すりおろす） …… 1／2個
- カブの葉（小口に切った物） …… 適宜

作り方

（1）一口大に切った鶏もも肉に酒と塩、ゆずごしょうを入れ、もみ込んで1時間ほど置く。
（2）フライパンにサラダ油をひき、弱火で鶏肉を焼き上げる。
（3）あん掛けの材料を合わせ、ナメコを入れて火を通し、水溶き片栗粉でとろみをつける。器に鶏肉を盛り付け、あんを掛け、すりおろしたカブ、小口切りの葉をあしらい出来上がり。

編集後記

インフルエンザが全国的に猛威をふるっています。とある番組で医師が答えるインフルエンザの予防方法第一位に、予防接種や手洗いうがいを抑えて『人ごみに行かない』だったことが、とても印象に残っています。大事なイベントを直近に控えている方は極力、外出を控えてはいかがでしょうか。

今月の頼れるあぐりウーマンで取材させていただいた坂上さんの趣味が漫画とのことで、すごく親近感が湧きました。部屋一面に本を並べた漫画部屋を作る事がちょっとした夢でしたので、また少しずつ集めたいと思います。ぜひみなさんのおすすめの漫画を教えてください。

（翔）

facebookページ更新中！

随時、最新情報を更新していますので、ぜひチェックしてみてください。

JA新はこだて facebook　検索

まるめ郎アルバム

車の背より高い雪山があちこちにある。
ドライバーや歩行者は死角に気をつけて!!

緊急時のご連絡先

※業務時間内（平日9時～17時）にはご契約の支店にご連絡ください。

お車の事故・トラブル
☎0120-258-931
（JA共済事故受付センター）

お車のレッカー・ロードサービス
☎0120-063-931
（JA共済サポートセンター）

キャッシュカードや通帳の紛失・盗難
☎0120-944-904
（JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター）

JAクレジットカードの紛失・盗難
☎0120-159-674
（三菱UFJニコス㈱盗難紛失受付センター）

※JAカード一体型の盗難・紛失においては、両方にご連絡ください。